ワークショップ「はこだてエコカフェ」(事業所対象) 開催状況 ~2030年の函館の環境を考えよう~

〇 開催状況

• 実施日時

平成31年(2019年)2月8日(金)13:30~15:30

- 実施場所 函館市環境部
- 参加人数6人(6事業所)

○ はこだてエコカフェ(事業所対象)では

「函館市環境基本計画」の策定にあたり事業所の皆さまからご意見をいただくため、事業者目線で見た函館の環境の今と未来を自由に語り合い、意見を出し合っていただきました。

【話し合ったテーマ】

- ・函館の環境の魅力と課題
- ・2030年の函館の環境

【トークの内容】

- ・話し合いしながら、メモ帳の代わりに付箋に意見を書き込んで、模造紙に貼り付けていただきました。意見が活発になるとともに、模造紙もカラフルになり、 たくさんのご意見を埋めていただきました。
- 模造紙には、いろいろな方々の貴重な意見が詰まっています。

【意見の共有】

・話し合いの後,函館の環境に望むこと,気をつけることを各自発表し,参加者 全体で意見を共有しました。

【函館の環境の魅力】について出された意見

自然(海, 山など)に関すること(3件)

1	海,山,空が揃っている,それを眺める場所がある
2	海,山,川があるまち
3	自然

景観, 歴史, 美化に関すること (5件)

1	町並みがいい
2	歴史ある町並み
3	歴史 (日本の教科書に名前が出ているまちはあまりない)
4	町中はごみが少ない
5	ゴミ拾いや清掃活動が盛ん

観光, 食に関すること (4件)

1	公園、観光地の魅力度が高い
2	食べ物がいい
3	海産物
4	新鮮な食材 (海産物,農産物の生産と消費が近い)

交通に関すること(3件)

1	空港、港、新幹線などの交通インフラが充実している
2	様々な交通モード(電車、バス、船、飛行機)がある
3	空港が町から近いので、利用者は便利

【函館の環境の課題】について出された意見

騒音に関すること(1件)

2 空港が町から近いので、近隣住民には騒音がある

交通, 道路に関すること (4件)

1	交通渋滞が起こりやすい
2	公共交通の住民向けと観光客向けの組み合わせ
3	公共交通の利用促進
4	道路の除雪,排雪

経済に関すること(4件)

1	近くに大きな消費地がないため、函館市だけが主な商業圏となっている
2	経済的に見れば「離島」と同じ(他の経済圏から遠すぎ)
3	観光以外の主要産業がない(弱い)
4	経済的には人口減は悪

その他 (4件)

1	市の政策の中に低炭素,CO2削減がない(少ない)
2	コンパクトシティに逆行した人口の遷移をしている
3	民間開発の計画時に環境の視点が弱い
4	最近、西部地区にカラスが多い(西部地区にフン害が)

【2030年の函館の環境】について出された意見

大気,水などに関すること(2件)

1	空気、水、緑などの自然環境が安全
2	空気,水がきれいで,ゴミのないまち

景観に関すること(1件)

1 景観をよくする(柱が多い)

交通に関すること(3件)

1	公共交通が住民にかかせない交通インフラになっている
2	来やすいまち(新幹線,LCC,高速道路)
3	交通環境改善(低公害車の普及)

観光に関すること(4件)

1	海外の方も親しみのあるまち
2	観光客のリピーターが増えてほしい
3	市民のモラル向上で、観光客にウェルカムなまち
4	インバウンド増加によるオーバークルーズへの対応

エネルギーに関すること (6件)

1	エネルギー,資源の循環が出来るモデル都市
2	省エネに努める
3	冷暖房の設定温度
4	街路灯のLED化(安全に寄与する)
5	バイオマスの有効活用
6	水素の実用化

まちづくりなどに関すること (5件)

1	市町村合併(企業、人、自然が融合するまちづくり)
2	居心地のいいまち
3	強靱なまちづくりや低炭素社会実現の政策の浸透
4	災害にも安心なまち
5	行政が率先して環境に配慮し、民間へも浸透させる

【2030年の函館の環境について望むこと、気をつけること】

1	環境という部分だけではなく、まちづくり全体で環境を考える必要がある
2	函館の産業は観光がメインだが、全てをつなげて自社をよくすることが、まちをよく
	することにつながる。
3	行政より親会社からの指示が大きいので、親会社に働きかけることが重要
4	異業種の集まりで様々な意見が聞けたのが貴重だったので, 定期的に実施してほしい
5	社内においても、様々な場面で環境に関して話していきたい
6	環境について考えることがあまりなかったので、持ち帰ってフィードバックしたい









